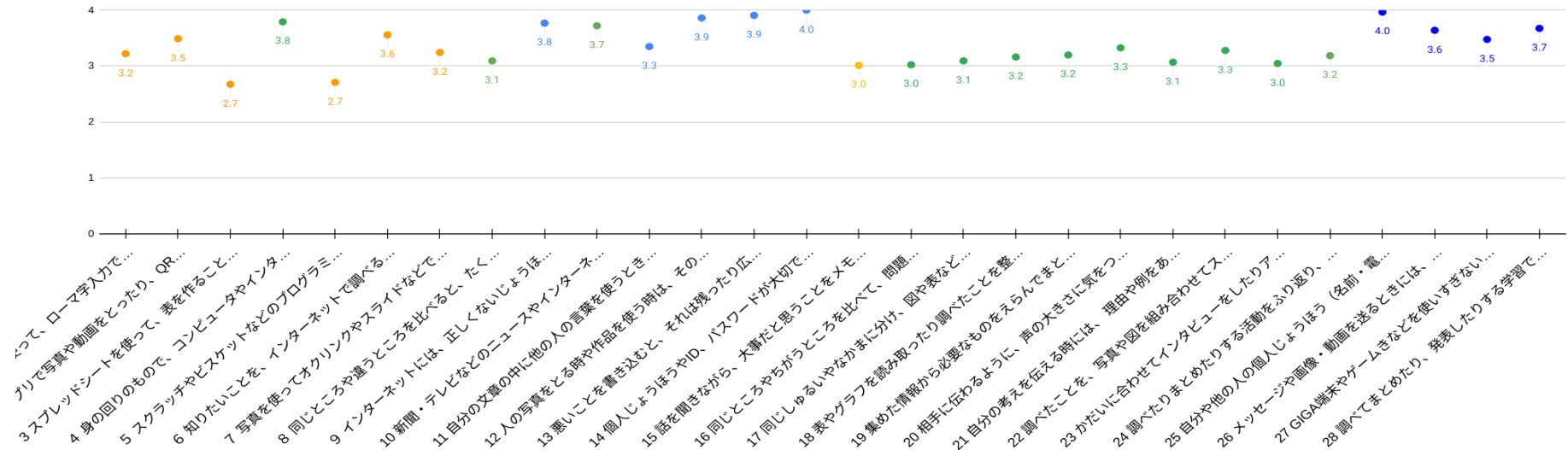


情報活用能力2022 ステップ1 4年後期 28項目の平均値分布

質問28項目毎の平均値を分布図で表示 3観点（知識・技能、思考・判断・表現、学びに向かう力・人間性等を）色別に表示



1 キーボードを使って、ローマ字入力で正しく文章を打つことは得意である。(鉛筆で書くスピードより速く打てる)	15 話を聞きながら、大事だと思うことをメモすることができる。
2 カメラアプリで写真や動画をとったり、QRコードを読み取ったりすることができる。	16 同じところやちがうところを比べて、問題を見つけることができる。
3 スプレッドシートを使って表を作ることができる。	17 同じしゅるいやなかに分け、図や表などに整理することができる。
4 身の回りのもので、コンピュータやインターネットが使われているものがあることを知っている。	18 表やグラフを読み取ったり調べたことを整理したりすることができる
5 スクラッチやビスケクトなどのプログラミングアプリを使って、簡単なプログラムをつくることは得意である。	19 集めた情報から必要なものをえらんでまとめることができる。
6 知りたいことを、インターネットで調べることができる。	20 相手に伝わるように、声の大きさに気をつけたり、間を取ったりしながら話すことができる。
7 写真を使ってオンラインやスライドなどで発表用のスライドを作ることができる。	21 自分の考えを伝える時には、理由や例をあげて話すことができる。
8 同じところや違うところを比べると、たくさんの情報を整理することができることを知っている。	22 調べたことを、写真や図を組み合わせてスライドにまとめて発表をすることができる。
9 インターネットには、正しくないじょうほうやきげんじょうほうがあり、見つけたときは大人に相談することを知っている	23 かだいに合わせてインタビューをしたりアンケートをとったりして、いろいろな方法でじょうほうを探すようにしている。
10 新聞・テレビなどのニュースやインターネットの情報は、伝える側の思いや考えによってちがうことを知っている。	24 調べたりまとめたりの活動をふり取り、ほかの学習にいかそうとしている。
11 自分の文章の中に他の人の言葉を使うとき（引用するとき）は、そのぶん「」をつけて書くことを知っている。	25 自分や他の人の個人じょうほう（名前・電話番号・住所・ID・パスワードなど）を知らない人に教えないようにしている。
12 人の写真を撮る時や作品を使う時は、その人の許可が必要だと知っている。	26 メッセージや画像・動画を送るときには、誰が見るか、その内容がきせつかどうかなど考えるようにしている。
13 悪いことを書き込むと、それは残ったり広がったりする危険があることを知っている。	27 GIGA端末やゲームきなどを使わずにぎやうやくそくを守って使っている。
14 個人情報やID、パスワードが大切であることを知っている。	28 調べてまとめたりの、発表したりする学習では、GIGAたんまつを活用するようにしている。

